



さんりんしゃ 三輪車



ニッキー

八千代市立新木戸小学校

《校長室だより》

発行：校長 寺田 好江

令和2年度 第24号

令和3年 2月10日

【学校教育目標】 自らの可能性を拓く子供の育成

命の始まりについて考えよう！

5年生総合的な学習



3学期の5年生の総合的な学習の時間のテーマは「ぼくの命・わたしの命」です。新木戸小学校の5年生はこのテーマの学習をしています。理科でも学習しますが、総合的な学習の時間のテーマにしているのは、命の始まりが奇跡的なものであることを知ること、自己肯定感を高めることができます。そして、お母さんのおなかの中で、280日近く大切に育てられ、無事に生まれてきた一人一人の大切な命について学び、自分の命を大切にするとともに、友達の命も大切に考えられる子を育てていきたいと考えています。この後、胎内成長について調べたり、御家庭で話を聞いたり、妊婦になる体験に挑戦したりしていきます。



【5年生の感想から】

- *命が始まることは本当にすごいんだなと思った。この授業で自分が生まれたことがとても素晴らしい事だと改めて感じた。
- *命が始まることも奇跡的で、生まれるまで280日もの間、お母さんのおなかの中で成長して生まれてくる命だから大切にしなければいけないと思った。
- *3億の中からたった一つ、選ばれた精子から生まれた命だから大切にしようと思った。
- *命が始まる瞬間を始めて見て感動した。
- *人間が会い、そして子供ができる事を知りとても神秘的だと思った。自分は3億の中のひとつで命が始まったと思うと、命を大切にしないといけないと改めて思った。
- *3億分の1の確率で私が生まれた。違う精子だったら男の子だったかもしれない。それを考えると本当に奇跡の一人だと思った。私も大人になったら本当に好きな人と結婚して子供を育てたいと思った。
- *精子の旅のDVDを見て、3億の中の1つしか卵子にたどりつけないことがわかった。一つのものをかけたサバイバルゲームみたいだと思った。
- *今、身長が150cm近くあるけれど、命の始まりは1mmもなかったことに驚いた。約1500倍だ！人間てすごい280日もの間おなかの中で赤ちゃんを育てるお母さんは大変だと思った。大切な命だと思った。
- *奇跡的に始まった命を、いじめや虐待で命を落としてしまうのはもったいない、だめだ！と思った。